

# 事業計画書

合同会社 Peach Garden

# I. 企業概要

## 1. 企業名等

代表者名	中西恵理子
企業名・屋号	合同会社 Peach Garden
所在地	大分県大分市大字千歳 2082 番地の 24
設立年月日	7 年 12 月 1 日（予定）
資本金	95 万円
事業内容	放課後等デイサービス

## 2. 経営者の経歴等

### <経歴・資格等>

・2021 年 5 月 小美風土 5 合同会社 入社  
放課後等デイサービスイギリス海岸・ポラーノの広場 勤務  
2025 年 8 月合同会社 PeachGarden 設立

### <資格>

・2023 年 5 月 児童指導員任用資格取得

## 3. 起業の動機

市内にある放課後等デイサービスに約 4 年勤務し、児童発達支援管理者の資格取得に伴い、これまでの経験を活かし学習面の更なる充実や、他の施設ではあまり見受けられない食を多く取り入れた活動を展開して、食に対する拘りや調理への興味、手指等の訓練、またそれに伴う保護者の負担軽減、外部活動における利用者の健康づくり、地域や医療との連携強化等を目標にスタッフと力をあわせて運営していきたい。そして大分市の障害児福祉・療育支援にぜひ貢献させて頂きたいと思いました。

# II. 事業内容

## 1. ビジョン・目標

子ども(利用者)や保護者の意向を尊重し、活動内容を工夫して学校や相談支援事業所等関係機関と協働した療育を提供し、子どもたちの健やかな成長過程の一助になりたい。不随するものとして保護者の負担軽減や家庭内の融和に繋げたい。

## 2. 事業コンセプト

### (1) 商品・サービスの内容

利用者の学校や自宅に送迎を行い、定められた時間内で個々の個性を伸ばす事や、集団の中でいかに活躍できるか等に挑戦させ、予め立てられた個別支援計画書や支援プログラムに基づき保護者が納得できる療育を進めたい。

### (2) ターゲット顧客

事業所から半径約 5～10km 圏内の小中学校校区であって、大分市より受給者証が発行された小学1年生～中学3年生を中心に療育を提供する。

### (3) サービス・商品の提供方法・仕組み

活動内容を学習・運動・食育・体験の4項目を柱としてサービスを提供します。

1日の流れ：①学校や自宅へのお迎え→②健康チェック→③朝の会→④学習又は上記4項目のいずれかの活動→⑤昼食→⑥学習又は上記4項目のいずれかの活動→⑦整理整頓→⑧帰りの会→⑧自宅へのお送り

(学習)日々の宿題を中心とした学習支援を行うと共に、定期的に学習専門員の指導を仰ぎ協働で利用者の苦手な課題に対する支援を行います。

(運動)関連施設(体育館や公園等)を利用して、利用者の運動能力に応じた体力づくりや健康維持を支援します。

(食育)おやつ(駄菓子)の提供を最小限にし、昼食づくりやおやつ作りを多く取り入れ、作る事への興味や手先の訓練、食の大切さや保護者の負担軽減も含めて家庭での話題づくり等を総合的に支援します。

(体験)主に土曜・日曜・祝日など、活動時間が多く取れる時には比較的遠方に出かけ運動や見学学習等を取り入れた自然や社会に触れる体験を支援します。

※チャットメール等で常に保護者との連絡を密にします。

### 3. 現状分析等

#### (1) 業界のトレンド、市場規模

- ①対象の子どもは年々増加している。
- ②市内に130以上の放課後等デイサービスがあるが、職員の確保の問題から定員が10名のところが多数であり、学校の集まる地域など地域によってはまだ不足している。
- ③明野団地内には学校が多く、近郊にも明治小学校、明治北小学校、下郡小学校、桃園小学校、日岡小学校、大分東小学校、高田小学校、松岡小学校などが対象範囲(市場規模)と言える。あとは競合する事業所を視野に入れる。
- ④大分市内でも職員(保育士や児童指導員等)がまだまだ不足しており転職も多い。子どもの利用環境や職員の働きやすい環境を確保し、活動内容など子どもが興味を示すものを選択する事はもとより、職員の負担を最小限にする事が大事である。
- ⑤相談支援事業所からの利用者受け入れの打診がまず第一歩であるので、当施設の状況把握して頂くよう日頃より連携を密にしなければならない。

#### (2) 競合の状況

地域に集中している放デイは見受けられるが、あくまで相談支援事業所の受け入れ打診から始まるケースで、10人定員という縛りはあるが、これを利用者、保護者の意向として捉え最大限の受け入れ体制を整えたい。

子どもは仲の良い友達ができたり、活動内容等に満足して利用を繰り返すが、離れていく子どもはその逆で他の事業所を希望する。転所希望者には相談支援事業所や保護者の意向をやく話し合い適当な事業所の転所に協力する。市内に身内の運営する施設があるので、これらも含め日頃から子どもの情報収集に心掛け双方で協力していく。

#### (3) 自社・事業の強み・優位性

平日の利用時間は短時間であるので、他の事業所と同様に学習や屋内活動、近隣の公園などを利用した屋外活動となる。個々の趣向にもよるが屋内活動に簡単なおやつ作りやクッキングを多く取り入れ生活力やみんなで作る役割分担や楽しさが習得し、尚且つ保護者の負担軽減や家庭内での話題作りに繋げる。

土曜日や長期休みについては比較的遠方の外部活動とし、体力づくりや自然に親しむ活動を提供する。